

グローバル資本主義と安倍政権

1 安倍政権の野望

(1)この政権を支持・推進させる勢力は誰か(何か)

財界、官僚、日本会議、アメリカ政府

(2)政権のめざすものは何かーグローバル競争大国

○企業活動がグローバル化し、日本企業(独占資本)がアメリカ企業(独占資本)と肩を並べようとする中、その自由市場を守り拡大するためにアメリカ=現「世界の警察官」に追随し、米軍を補完するための軍事大国を目指す

○アーミテージレポート(2012年)より

一流国家とは、経済力、軍事力、グローバルな視野、そして国際的な懸念に対して実証された指導力を持つ国家」であると定義し、日本が今「二流国家」に転落する瀬戸際にある、一流国家にとどまりたいければ、自衛隊に対する「時代錯誤の制約を取り払って」アメリカの戦争に協力し、日米同盟を強化しなければならない

2 グローバル資本主義とアメリカの世界戦略

(1) グローバル資本主義=グローバリゼーションの進展

現代のグローバリゼーションー1980年代中ごろからアメリカ企業(製造業)に始まる

‘80年代後半から日本など各国企業も ‘90年代に加速化

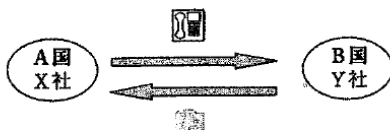
①ソ連の崩壊、 ②IT革命

③グローバル企業を加速させるアメリカ政府の戦略

(2)グローバリゼーションとは

図表1

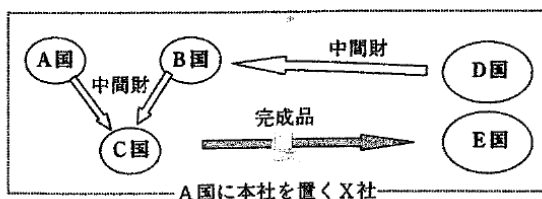
①古典的貿易：国民経済間の経済関係



②多国籍企業の初期段階：生産拠点の移転=現地生産



③多国籍企業の現段階：企業内国際分業、企業内貿易、グローバル・サプライチェーン

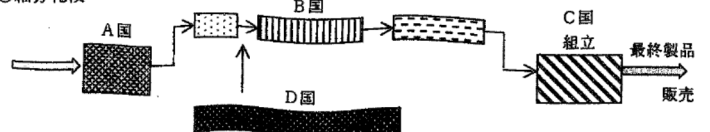


図表2 生産工程の細分化

◎細分化前：国内にすべての生産工程



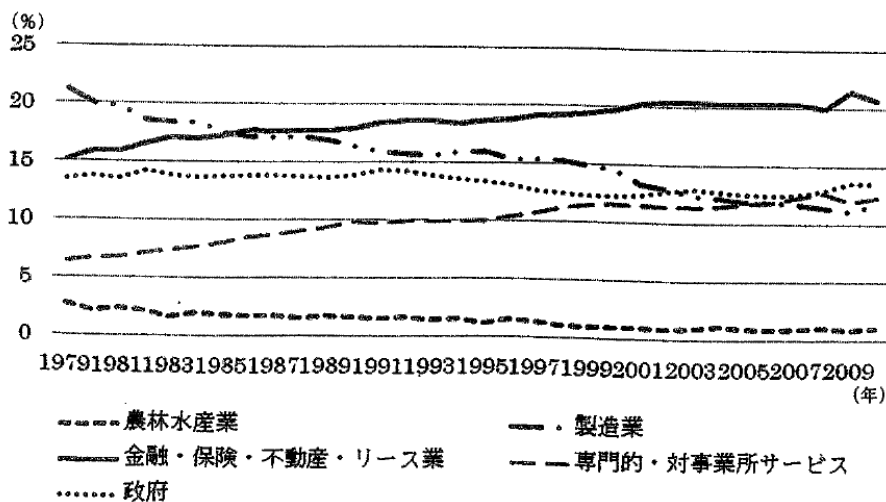
◎細分化後



(3) サービス業のグローバル化—特に'90年代に入り

a) アメリカ産業構造の劇的変化('80年代以後)

図表3 アメリカ主要産業のGDPシェア



出所：Economic Report of the President, 2012, Table B-12より作成。

b) 貿易構造も大きく変化

(4) アメリカ—これを国家政策として取り込む(アメリカン・グローバリズム)—世界戦略に—加速
化を促す

a) Level playing field—「公平な競争条件」=アメリカの競技場の『高さ』に合わせる

○各国の法制度や規制をアメリカの基準に合わせる

○GATTに代わる新たな国際協定の締結へ

GATT：関税及び貿易に関する一般協定 1947年成立

輸入品に対する税金=関税率を引き下げる、あるいは数量制限をなくすなど国境
を超える貿易を促進する

▲GATS(サービス貿易に関する一般協定)▲TRIPs(知的所有権の貿易の側面に関する協定)

▲TRIMs(貿易に関連する投資措置に関する協定)→WTO(世界貿易機関 1995年 2011年
決裂)へ

b) その目指すものは何か—独占資本の利潤の最大化—TPPはその一環

○「底辺への競争」—コスト(賃金・税金・労働基準・環境規制)削減を目指して

○TPP推進—日本はアメリカングローバリズムに乗っかることで自らの利益の最大化をめ
ざす

▲TPP—「例外なき関税撤廃」と「非関税障壁の撤廃」

「非関税障壁」—医療など社会保障制度などを含む

c) 妨害する勢力の排除—軍事を含めてその一翼として日本が

* 現代帝国主義の在り方—植民地なき現代的支配の手段

3 世界に何を引き起こし、また引き起こそうとしているか

(1) 国民国家、国民経済の破壊

- 産業空洞化及び(2)とも関連し、「国際競争力の強化」「海外に逃げる」を名目に法人税減税・雇用破壊・賃金抑制・労働基準の破壊
- タックスヘイブン

(2) 貧困と格差の拡大ーグローバル化

- 「底辺への競争」の激化によるだけでなく、生活を守っている規制を取り払い、社会保障によるセイフティネットを破壊ーグローバルな貧困と格差の拡大

(3)民主主義の破壊

- ISDS 条項(投資家対国家仲裁条項)など

以上